

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	淀川区
学 校 名	塚本小学校
学校長名	北野 元靖

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・塚本小学校では、第6学年 76名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は69%で、大阪市を3ポイント、全国を1.3ポイント上回った。算数の平均正答率は66%で、大阪市を4ポイント、全国を2.6ポイント上回った。
国語の平均無解答率は4.1%で、全国を0.1ポイント上回ったものの、大阪市を0.8ポイント下回った。算数の平均無解答率は2.5%で、大阪市、全国いずれも上回っており、最後まであきらめずに問題に取り組んだことが分かる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「話すこと・聞くこと」は大阪市を8.3ポイント全国を3.8ポイント上回り、「読むこと」も大阪市を3.6ポイント全国を3ポイント上回った。また、昨年度まで対全国比を下回っていた「書くこと」も大阪市を3.8ポイント全国を1.3ポイント上回っている。しかし、「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する問題については、大阪市・全国いずれも下回ってしまい、課題となった。

〔算数〕

どの領域においても、大阪市の平均正答率を上回っており、全国の平均正答率も「データの活用」以外は上回っている。特に、「変化と関係」については大阪市を5.8ポイント全国を4.9ポイントも上回った。記述式の問題にも、しっかりと答えることができている。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に「当てはまる」と最も肯定的に答える児童は68.4%と全国・大阪市を上回った。このことから自尊感情が高い児童が多いことがわかる。他の質問からも、「先生は、自分のよいところを認めてくれている」「学校に行くのは楽しい」と感じていて「将来の夢や目標を持っている」児童が多いことが読み取れる。また、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という質問に、肯定的に答える児童は大阪市を上回り、「当てはまらない」と最も否定的に答える児童については0%となったことから、授業にしっかりと話し合う活動を取り入れられていることがわかる。

今後の取組(アクションプラン)

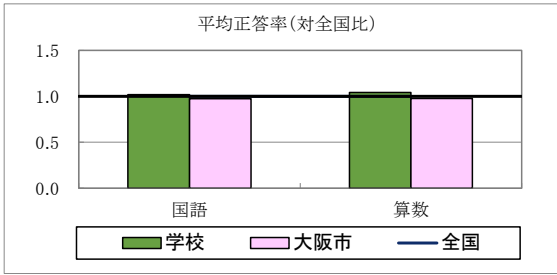
質問調査からも分かるように、昨年度までの国語科の研究において、どの学年も様々な対話形式を取り入れて授業を構成できるようになってきている。今後は、これまで研究してきた対話的な学びを創る授業構成の工夫と効果的な発問を生み出す教材研究について、より一層取り組みを進めていく。また、国語科の系統的指導についてや、教科書改訂に伴う新教材の研究についても深められるようにしていきたい。

「学校ホームページ」「学校だより」などによる保護者・地域への積極的な情報発信を続け、子どもたちの自尊感情の土台をしっかりと固められるような取り組みを地域、家庭、学校が連携して進めていく。

【 全体の概要 】

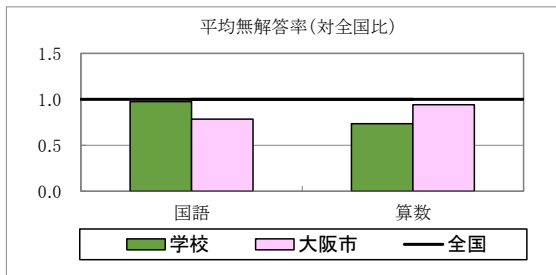
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	69	66
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	4.1	2.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



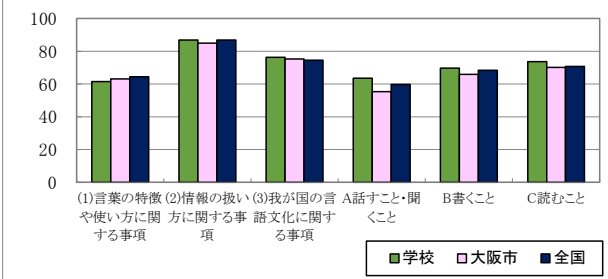
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	61.5	63.1	64.4
(2)情報の扱いに関する事項	1	86.8	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	76.3	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	63.6	55.3	59.8
B 書くこと	2	69.7	65.9	68.4
C 読むこと	3	73.7	70.1	70.7

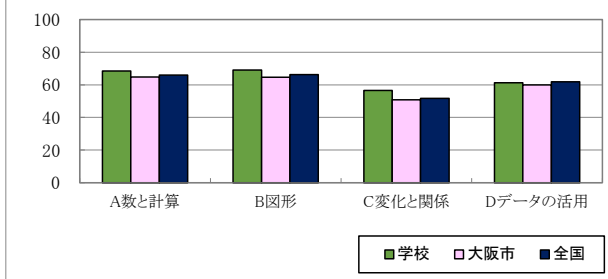
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.4	64.8	66.0
B 図形	4	69.1	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	56.6	50.8	51.7
D データの活用	4	61.2	60.0	61.8

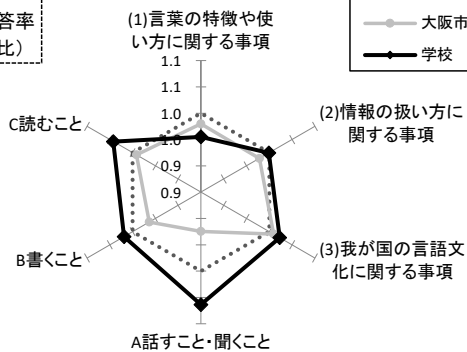
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



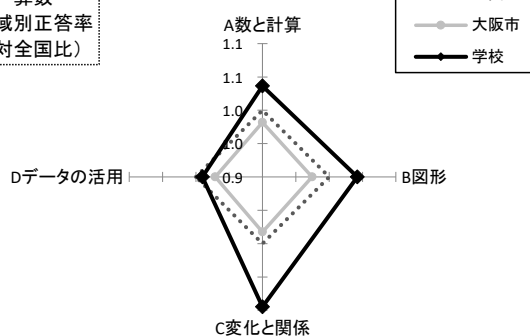
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)

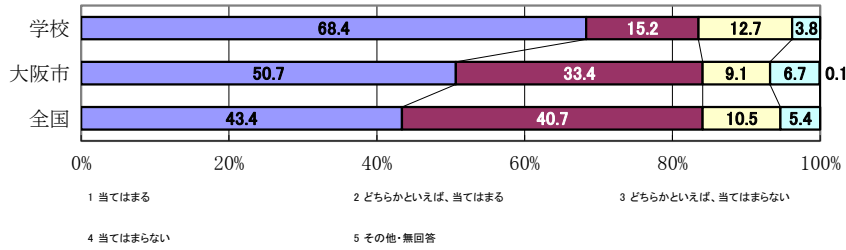


児童質問より

質問番号
質問事項

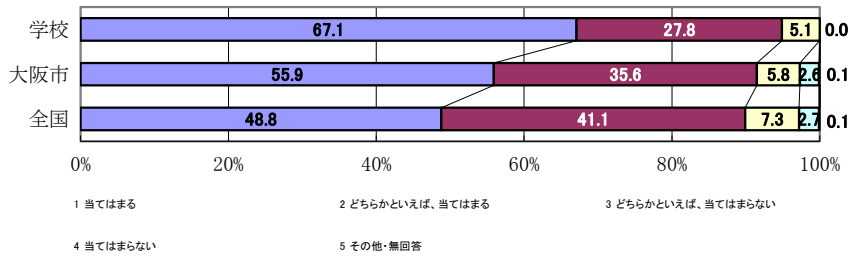
9

自分には、よいところがあると思いますか



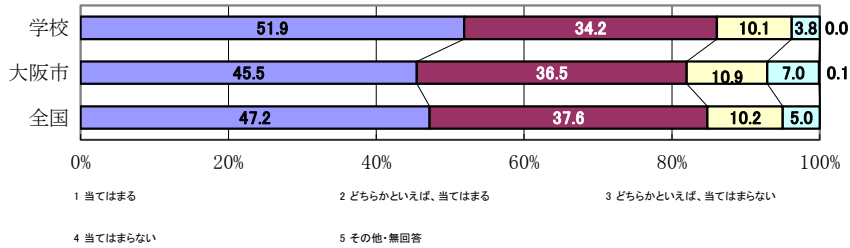
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



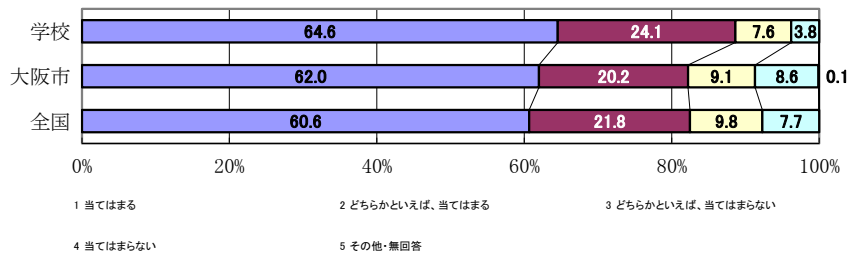
16

学校に行くのは楽しいと思えますか



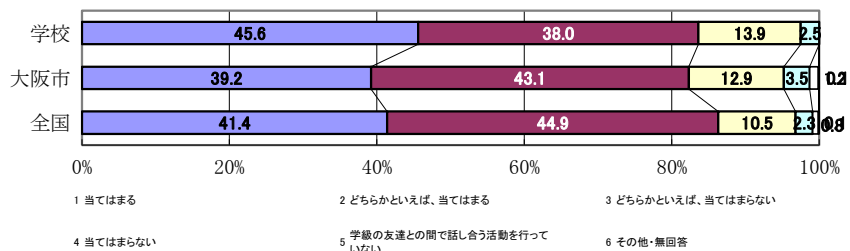
11

将来の夢や目標を持っていますか



33

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



学校質問より



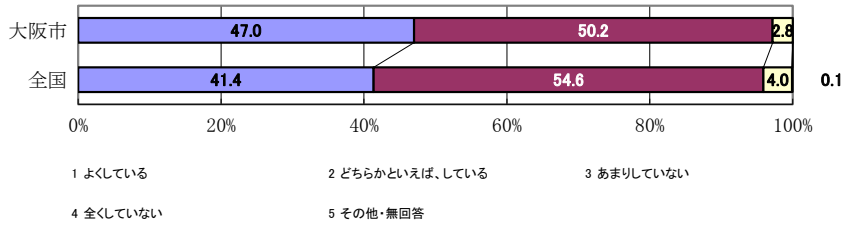
質問番号

質問事項

15

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

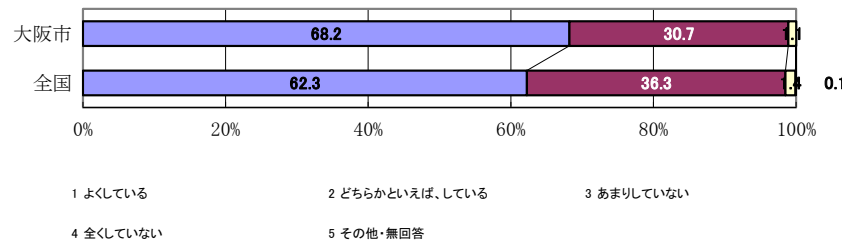
学校「よくしている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

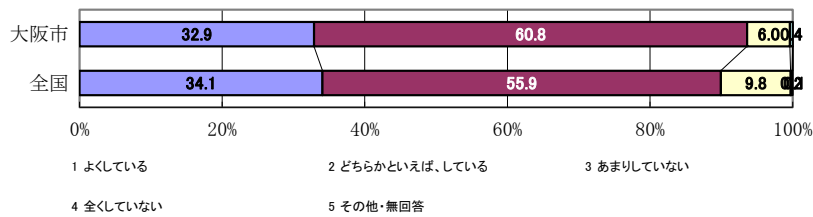
学校「よくしている」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

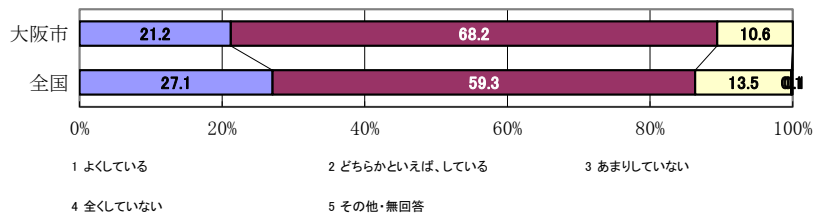
学校「どちらかといえば、している」を選択



18

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

学校「どちらかといえば、している」を選択



53

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校「ほぼ毎日」を選択

